

人命救助で表彰さる

石城郡大浦村補充兵根本要一、草野村新妻忠次郎、鈴木喜三郎大和田友光の四名は去る八月十八日午後一時頃新舞子海岸で草野村下神谷大和田彌助(三四)が溺死せんとした處を飛び込み麻縄を利用して救助したので佐藤聯隊區司令官より表彰される筈である。

女子青年で活動寫眞

石城郡女子青年團では社會教育並に資金増成のため来る十五日十六日兩日平町聚樂館で活動寫眞會を開催する。

日光園体募集

運轉事務所主催の日光參拜園体は目下募集中であるが、十六日午後六時十二分四倉驛發、會費は六圓五十錢である。

尼子自動車子供を轢く

平町二丁目尼子自動車部運轉手草野美穂(二四)は八日前十一時半頃、湯本間乗合自動車を運轉し平町紺屋町地内を進行中同町柳下元吉三男柳下高男(四ツ)を轢き倒し藤沼醫院で手當中であるが重傷である。

ハガキ集

投書 歡迎
▲四倉校の〇〇先生、先達て新聞で素つ破ぬかれたためか近頃大變氣取つてゐるではないか(兒童の父)▲北部聯合競技大會で優勝した四倉校緊縮の折柄六時から十一時まで柏

三人殺しを逮捕するまで

小田部警部(密) (九)
五、被害者起居状態
イ、起床は午前四時頃(是れは炭出しの爲め山一般に同様なり)、晝食は普通午前十一時三十分頃なり。
ハ、夕食は被害者方に於ては同山一般の炭焼夫より早く夕食を爲し居るを以て平時は日没頃前後なりと云ふ。
ニ、就寢は通常に於ては夕食後間もなく就寢するものにして午後七時又は八時前後なりと云ふ。
ホ、寢る時の模様
確かな事はわからないが、小屋の奥を枕となし東南入口の方に足を向け、妻キクノは西側に子供のマツイは中間に千萬吉は東北の側に就寢し古き合物の敷布様のものを敷きて就寢するを常とせる如し。
ヘ、被害者嗜好物
千萬吉は狩獵、賭博及煙草を好み、酒は二杯を口にすることのみなるも、常に集合する賭博仲間の方に與ふる爲めに時時酒を買ひおくの事實あり。
ト、入浴の状況
同山炭焼仲間にて風呂を有するは被害者と佐藤熊二郎の二人なり、併して被害者方に於て三日に一度、場合に依つては隔日に沸し、被害當日は入浴したる模様なり。
チ、燈火の状況
被害者方に於ては燈火を使用しあり、常に就寢の時は極めて細目にして寢るを常とせり

屋旅館で祝賀會は贅澤過ぎませんか(二町民)
▲訂正 四倉町秋期衛生掃除日割中十月十日とあるは二十日の誤りにつき訂正す。

紺屋高尾で名高き 浪界日本第一之人氣者 篠田實師大一行

各地共入場料(平土間金八十錢)

巡業地日割

十月十四日(一日) 平町 聚樂館
十月十五日(一日) 四倉町 四和倉座
十月十六日(一日) 宮炭礦 昭和館

特別割引券、前買券は 平町 高橋演藝部 各商店に有升

松たけ 烏

季節向き新料理 を始めました

た誘ひの上御試食を願ひます

平町田町 電話二三六番

初音

冬の學生服

是非冬服もなかやで

コレなら自信を持てお奨め出来る生地裁縫共に分ない黒小倉です

小學生用(長ツボン付)	1號七八歳用	1圓80錢
	2號八九歳用	2圓00錢
	3號九十二歳用	2圓20錢
	4號九十二歳用	2圓40錢
	5號九十二歳用	2圓60錢
中學生用	6號一二年生位	4圓20錢
	7號二三年生位	4圓40錢
	8號三四年生位	4圓60錢
	9號四五年生位	4圓80錢

各學校制定ボタンハ15錢高
中學外套十月月中旬より賣出

平二 なかや洋服店

高久病院

平町田町(電話五二三番)

内科 小兒科 外科 花柳病科 耳鼻咽喉科


新瀨醫學士 赤高 羽久 雄清忠

佛國マルソー會社元詰 生葡萄酒

マルソー・ブランク・白 子1.10
マルソー・ルージュ・赤

良品にして安價實行飛ぶが如し

西村屋藥局



心地良き秋が訪れます
秋向き尺モスリンと帯側が澤山入りました
御仕度は當店 亀田屋 電五七

毒梅 腸胃

皮膚病 淋病 梅毒 腸胃病 胃性病

院醫科 院醫科 (七〇一話電町南平)

阿部石炭商店

營業種目 石炭、コークス、玉炭

警城第一ノ石炭トシテ自他共ニ推稱スル

- ◎警城炭礦ノ最上石炭 正味十貫目入 壹俵 金六十五錢
- ◎日本デ一番評判ノ良イ東京瓦斯コークス
- ◎コークス 壹俵 金壹圓參拾錢
- ◎木炭ノ三倍御徳用ナ
- ◎玉炭 大箱壹箱 金貳圓

▲配達ハ一俵ヨリイタシマス

平町前 電話二三七

繪本武者修業

大衆の求め映畫・人畫の望望を此の篇に

日活社會大製作 千恵藏映畫ノガサノ作品

低趣 徊味 特映 作畫

演出に業修者武な珍奇が眼若る眠に風春を過を亡與亂治

……すでり語物の畫映此がのた

十日寫眞替 (木曜日)

原作……田中敏樹
◆阪東妻三郎主演
新撰組隊長(最終篇)

連續映畫 近藤勇

虎松の宅に新撰組土方一味が襲撃した、阪本龍馬の命は……突如亂争……

日活松竹 學生日曜 平 電四六六

ニラノスケ粕取焼酎發賣

二合白瓶二十五錢(空瓶交換仕候)

平町四丁目平驛通り

永山酒造店總發賣元 電話二〇七番